

トピックス： 国民文化祭しずおか

平成21年 国内最大の文化の祭典が静岡に  
第24回国民文化祭しずおか2009

教育委員会生涯学習課

☎(59) 3106



【国民文化祭とは】

全国各地で行われている様々な文化・芸術活動を全国的な規模で発表し交流することによって、新しい芸術文化の創造を喚起する我が国最大の文化の祭典です。

昭和61年に第1回大会が東京都で開催され、以降、毎年各都道府県を会場として開催されています。

【主催】

文化庁、開催地都道府県、開催地市町村など。

【開催地】

開催を希望する都道府県のうちから、文化庁長官が決定。

【開催期間】

主催事業は、原則として1週間程度。また、協賛事業は、原則として主催事業の期間を含む3ヵ月程度行います。

静岡県では、平成21年10月24日から11月8日までの16日間開催されます。

【事業の内容など】

①主催者が実施する「主催事業」と、地方公共団体、文化関係団体、企

業などが実施する「協賛事業」があります。

②主催事業の内容

●総合フェスティバル

アマチュア文化活動の新たな発展の方向性を示すものです。

●シンポジウム

アマチュア文化活動、地域文化活動などを含めた日本文化の動向について広く国民の関心を喚起し、その振興のあり方を探ります。

●分野別フェスティバル

合唱、民俗芸能などの分野ごとに、県や全国規模の文化関係団体などから推薦された団体などを中心にした公演および分野別の展示・展覧会を行います。

※主催事業については、文化庁はその経費の全部または一部を負担することとなっています。

③文化祭事業に賛同し、その目的に沿った事業を文化祭協賛事業として承認します。

④事業分野は、全国各地の民俗芸能、民謡、合唱、吹奏楽、オーケストラ、演劇、舞踊、邦楽、文芸、美術およびお茶、お華などの生活文化などとなります。

【川根本町会場での催し】

国民文化祭しずおか2009では、川根本町を会場として、全国の神楽が集う催しを予定しています。現在川根本町では10月21日に実行委員会を設立。神楽の祭典に関する企画・立案について協議を始まりました。今後も実行委員会での決定事項など、広報紙やホームページなどで、順次お知らせしていきます。

第24回国民文化祭川根本町実行委員会 (敬称略)

会長…杉山嘉英(川根本町長)  
副会長…澤村迪男(川根本町教育長)  
委員…森照信(川根本町議会議長)、山下喜隆(川根本町教育委員会委員長)、長濱寛二郎(川根本町文化協会会長)、小澤節子(学識経験を有する者・川根本町文化財保護審議会代表)、棚森きよみ(川根本町女性の会副会長)、諸田準一(学識経験を有する者・中川根商工会会長)、望月孝之(川根本町まちづくり観光協会会長)、山下忠之(川根本町区長会会長・徳山神楽保存会会長)、垣内俊一(静岡県国民文化祭準備室長)、久野孝史(川根本町議会議長)、筑地秀昭(川根本町総務課長)

した。その後も、つらい病気との闘いが続き何度も奇跡が起こりましたが、病氣は消えることがなく、瞳さんを苦しめ家族を苦しめます。そんな時も、瞳さんは決して弱音をほくことなく、大好きなマンガをかき、同じ病院に入院している患者さんをはげまし続けました。

中学生になっても学校には行けず、病院内の院内クラスで勉強し、国語の時間に「今伝えたいこと」というテーマで作文を書きました。その作文が代表に選ばれ、瞳さんは弁論大会に出場しました。「命を見つめて」という題で発表しました。その中で、本当の幸せということを問いかけています。瞳さんが言う幸せは、「幸せが私たちの一番身近にあることを、病氣になったおかげで知ることができました。それは地位でも名誉でもお金でもなく、『今、生きている』ということなんです。」

私はこの言葉を聞いて、今生きていることがすばらしいことなんだと思いました。生きたくても生きられない人たち、生き続けることが難しく、だからこそとても大変なこと。自分が死んでしまうと聞かされた瞳さんの言葉は、本の中の文字でも胸にじーんときました。病氣と闘いながら、瞳さんは決してあきらめず、反対に明るく笑顔で周りの人たちに元気に続けました。そして最後に、「心から病氣に感謝しています。生きていくことに感謝して、

悔いのない人生を送ってください。」と書いてありました。

私は、瞳さんってすごく強い人だと思いました。そして、「ありがとう」といつも相手を思い、感謝の心を大事にしている人だと思いました。そして、瞳さんの言葉「今、生きていることが幸せ」この言葉は、当たり前前に生きている私が忘れてはいけないメッセージに感じます。毎日学校で勉強することができ、力一杯体を動かし運動ができ、友だちと遊べる幸せ。家族や周りの皆に支えられ、決して苦しいことがあっても自分一人ではなく、相談のり助けてくれる人たちがいる幸せ。私は、この言葉を心において、つらい時も前向きに今を大事にして、感謝の心を大切に過ごしていきたいと思えます。

◆命のバトンタッチ

本川根小6年 山下和佳香



私は、動物が大好きで、家には3匹の犬がいます。淋しい時、辛い時など私の心をなくさめてくれます。

この本は、去年読んだ「こぎつねへレン」の時と同じように胸が痛みました。主人公の未来は、右目はつぶれ、右足首、左足指切断という状態で、千葉県動物愛護センターに保護され、処分されかかっていたところをペットシッターをしていた山口麻里子さんに救い出され、里親にひきわたされるまで書いた話です。

本の中に、「いったい、この子は何のために生まれてきたんでしょう……。」という麻里子さんのつぶやきがあり、この言葉はこぎつねへレンの話の中にもありました。ドラマの中で、障害や病氣を負うとでてるせりふです。とても心が痛む言葉です。未来は、虐待によって障害を負い捨てられたのに、人間嫌いなならず、無邪気で人なつこくやんちゃな女の子です。私はテレビの「志村動物園」をよく見ます。人間に虐待され、捨てられた犬は人間を信じることができず、こわがってなれようとしません。タレントのベッキーさんが、おびえている犬の心を少しづつほぐしていくのを見て、人間の身勝手さ、犬と人のかかわりあいの意味、動物と一緒に生きることのすばらしさを感じ感動しました。

テレビで障害を持った人、病氣と闘っている人、戦争で家や親兄弟を亡く

し信じられないような生活をしている人たちの頑張っている姿を見ることがあります。私は胸が苦しくなってしまう、つい、「このテレビ、かわいそうで好きじゃない。」と言つと、

「現実から目をそむけてはいけないよ。これは作り話でなく事実なんだから。助けを求めている人がいる時は、優しくさと思いやりを持って接してあげることができる人になってほしいな。かわいそうとか、気の毒だと思いう気持ちは大切だけれど、同情だけの接し方は失礼なんじゃないかな。」

本の中にも、たくさんの人は未来の足と目を見て、「かわいそう。」としか言わないのに、子どもは必ず「未来ちゃん頑張っているね。すごいね。」と言ってくれます。子どもたちは、未来からたくさんの勇気をもらっているのでしょう、と書いてあります。私もそう思います。

何と自由な生活をしている私たちは、何かを一生懸命頑張っている姿を見ると感動し、自分も頑張らなくてはと思います。勇気を与え、何か私にできることがないのかと考えさせてくれたへレンも未来も、意味のない命ではない。この地球上に生まれたからには、必ず一つ一つの命に意味があるのではないかと私は思いました。

より良い品を より安く  
オザワマート

営業時間・午前9時～午後7時(日曜日・午前9時～午後6時)

川根本町上長尾 TEL 56-1108 FAX 56-1109

オザワマートのゴールドカードは  
プリペイドカードとしてご利用いただけます。  
子育て支援対象の方はとくにお得です!  
詳しくは店頭でおたずねください。